



中古機械船積前検査の実施要領

弊社の検査は中国の法律及び国家技術規範の強制要求に基づいて下記の手順で実施しますので、該当項目の検査準備をお願いします。尚、指摘項目の記録用に検査員はデジカメを持って検査現場に参りますが、検査現場の規定又はお客様のご要望がございましたら、お申し付けください。対応させていただきます。

1. 一致性の検査

- ① 検査対象機械のメーカー銘板と申請書の設備リストを照合します。
- ② オーバーホール又は改造等で銘板を貼り替える場合には、必ず元の銘板を残して下さい。
銘板の貼り替えによる製造年の偽証は不合格と判断しますので、ご注意ください。

2. 安全性の検査

- ① 検査対象機器に中国の法律で輸入が禁止されている品目が含まれていないかを確認します。
圧力容器（タンク、ボンベ、消火器、アキュムレーター等）及びパソコン等の家電製品は輸入禁止です。
冷凍機、オイルクーラー等の冷媒でフロンCFCs（R11、R12、R113等）の使用機器は輸入禁止です。
- ② 危険箇所に安全柵＆カバーが設置されているかを確認します。
- ③ 非常停止ボタン基部の背景色が黄色であることを確認します。
- ④ 操作盤の操作ボタン、ランプ、警告文＆操作案内等が中国語で表示されていることを確認します。
- ⑤ 危険箇所に適切な警告ラベル（高電圧・感電・高温・挟まれ注意等）が貼付されているかを確認します。
機器の表面に露出したモーターには感電注意ラベルが必要です。
- ⑥ 制御盤＆電源盤内の接続端子（50V以上）には、感電防止カバーの取付を確認します。
- ⑦ アース線が単色（緑色）の場合には、緑黄二色ストライプ線への交換を要求します。交換出来ない場合は
中国で使用する前に交換する旨の接地線保証書のご提出をお願いします。
- ⑧ 複数のアース線を1個の接続端子（Body Earth）で共用している場合は、1本毎に分離して下さい。
- ⑨ 中国の交流電源周波数は50Hzです。60Hz専用であれば、頻率保証書のご提出が必要です。
- ⑩ 機器の運転が可能であれば、動態検査を実施しますので、検査準備をお願いします。
通電試験、負荷運転、緊急停止、絶縁点検、騒音点検等を実施します。

3. 環境衛生面の検査

- ① 半導体製造設備には、現場検査の判断により、ISO14001証明書(日本側&中国側)及び洗浄証明書が必要となります。中国側にISO14001が無い場合は、中国政府の環境保護に関する証明書が必要です。
- ② 衛生状態を確認します。
加工屑、ホコリ及び油污、土砂等が顕著であれば清掃又は汚損の除去を要求します。
- ③ 粉塵・汚水・有害ガスの使用と排出がないことを確認します。